

道路運送車両法(過去問題 貨物)

平成27年第1回(平成27年8月)

問9

道路運送車両法の目的についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

1. 道路運送車両法に関し、所有権についての公証等を行うこと。
2. 道路運送車両法に関し、安全性の確保を図ること。
3. 道路運送車両法に関し、整備についての技術の向上を図ること及び自動車製造事業の健全な発達に資すること。

解説 製造ではなく整備が正しい。

4. 道路運送車両に関し、公害の防止その他の環境の保全を図ること。

問10

自動車の検査等についての次の記述のうち、正しいものを2つ選び解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

1. **国土交通大臣の行う自動車(検査対象外軽自動車及び小型特殊自動車を除く。以下同じ)の検査は、新規検査、継続検査、臨時検査、構造等変更検査及び予備検査の5種類である。**
2. 自動車運送事業の用に供する自動車は、自動車検査証を当該自動車又は当該自動車の所属する営業所に備え付けなければ、運行の用に供してはならない。

解説 × **自動車に備え付けておかなければならない。**

3. 初めて自動車検査証の交付を受ける車両総重量7,990キログラムの貨物の運送する自動車運送事業用の用に供する自動車については、当該自動車検査証の有効期間は1年である。

解説 × **有効期間は2年である。**

4. **自動車は、国土交通大臣の行う検査を受け、有効な自動車検査証の交付を受けているものでなければ、これを運行の用に供してはならない。**

問11

道路運送車両法に定める自動車の日常点検整備について次の文中、A、B、C、Dに入

解説 2メートルではなく 1, 8メートル以下である。

平成27年第2回(平成28年3月)

問9

道路運送車両法の自動車の登録等についての次の記述のうち、正しいものを2つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 自動車登録番号標及びこれに記載された自動車登録番号の表示は、国土交通省令で定めるところにより、自動車登録番号標を自動車の前面及び後面の任意の位置に確実に取り付けることによって行うものとする。

解説 × 定められた位置。

2. **臨時運行の許可を受けた自動車を運行の用に供する場合には、臨時運行許可番号標及びこれに記載された番号を見やすいように表示し、かつ、臨時運行許可証を備え付けなければならない。また、当該臨時運行許可証の有効期限が満了したときは、その日から5日以内に、当該臨時運行許可証及び臨時運行許可番号を行政庁に返納しなければならない。**

3. 登録自動車の所有者は、自動車の用途を廃止したときは、その事由があった日から 5日以内に、永久抹消登録の申請をしなければならない。

解説 × 15日以内に申請。

4. **自動車の所有者は、当該自動車の使用の本拠の位置に変更があったときは、道路運送車両法で定める場合を除き、その事由があった日から15日以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。**

問10

道路運送車両法に定める自動車の整備命令等について次の文中、A、B、Cに入るべき字句としていずれか正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

地方運輸局長は、自動車が保安基準に適合しなくなるおそれがある状態又は適合しない状態にあるとき(同法第54条の2第1項に規定するときを除く)は、当該自動車の[A：**使用者**]に対し、保安基準に適合しなくなるおそれをなくするため、又は保安基準に適合させるために必要な[B：**整備**]を行うべきことを命ずることができる。この場合において、地方運輸局長は、保安基準に[C：**適合しない状態**]にある当該自動車の[A：

使用者]に対し、当該自動車が保安基準に適合するに至るまでの間の運行に関し、当該自動車の使用の方法又は経路の制限その他の保安上又は公害防止その他の環境保全上必要な指示をすることができる。

- A 1. **使用者** 2. 所有者
- B 1. **整備** 2. 点検
- C 1. 適合しなくなるおそれがある状態 2. **適合しない状態**

問 1 1

自動車の検査等についての次の記述のうち、**正しいものを1つ**選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 指定自動車整備事業者が交付した有効な保安基準適合標章を自動車に表示している場合であっても、当該自動車に有効な自動車検査証を備え付けなければ、これを運行の用に供してはならない。

解説 × **運行の用に供してよい。**自動車検査証、検査標章の規定の適用はない。

2. 自動車の使用者は、自動車の長さ、幅又は高さを変更したときは、道路運送車両法で定める場合を除き、その事由があった日から**30日**以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。

解説 × 15日以内。

3. **国土交通大臣は、一定の地域に使用する本抛の位置を有する自動車の使用者が、天災その他やむを得ない事由により、継続検査を受けることができないと認めるときは、当該地域に使用の本抛の位置を有する自動車の自動車検査証の有効期間を、期間を定めて伸長する旨を公示することができる。**

4. 自動車に表示されている検査標章には、当該自動車の自動車検査証の有効期間の**起算日**が表示されている。

解説 × 有効期間の**満了する日**(時期)が表示されている。

問 1 2

道路運送車両法の保安基準及びその細目を定める告示についての次の記述のうち、**誤っているものを1つ**選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 停止表示器材は、夜間200メートルの距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できるものであることなど告示で定める基準に適合するものでなければならない。

2. 自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ(セミトレーラにあっては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離)12メートル、幅2.5メートル、高さ3.9メートルを超えてはならない。

解説 正しくは3.8メートル

3. 用語の定義に定める「空車状態」とは、道路運送車両が原動機及び燃料装置に燃料、潤滑油、冷却水等の全量を搭載し及び当該車両の目的とする用途に必要な固定的な設備を設ける等運行に必要な装備をした状態をいう。

4. 貨物の運送の用に供する普通自動車であつて、車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上のものの原動機には、自動車が時速90キロメートルを超えて走行しないよう燃料の供給を調整し、かつ、自動車の速度の制御を円滑に行うことができるものとして、告示で定める基準に適合する速度抑制装置を備えなければならない。

平成28年第1回(平成28年8月)

問9

自動車の登録等に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 登録自動車の所有者の住所に変更があつたときは、所有者は、その事由があつた日から15日以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

2. 自動車の使用者は、自動車検査証の記載事項について変更があつたときは、法令で定める場合を除き、その事由があつた日から15日以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。

3. 臨時運行の許可を受けた自動車を運行の用に供する場合には、臨時運行番号標及びこれに記載された番号を見やすいように表示し、かつ、臨時運行許可証を備えなければならない。また、当該臨時運行許可証の有効期限が満了したときは、その日から15日以内に、当該臨時運行許可証及び臨時運行許可番号標を行政庁に返納しな

ければならない。

解説 5日以内が正しい。

4. 登録自動車の所有者は、当該自動車の自動車登録番号標の封印が滅失した場合には、国土交通大臣又は封印取付受託者の行う封印の取付けを受けなければならない。

問10

自動車の検査等に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 自動車運送事業の用に供する自動車は、自動車検査証を当該自動車又は当該自動車の所属する営業所に備え付けなければならない、運行の用に供してはならない。

解説 × 自動車検査証は当該自動車に備え付ける。

2. **自動車の使用者は、継続検査を申請する場合において、道路運送車両法第67条(自動車検査証の記載事項の変更及び構造等変更検査)の規定による自動車検査証の記入の申請をすべき事由があるときは、あらかじめ、その申請をしなければならない。**

3. 初めて自動車検査証の交付を受ける貨物の運送の用に供する事業用自動車であって、**車両総重量8トン未満**の自動車の当該自動車検査証の有効期間は1年である。

解説 × 車両総重量8トン未満の有効期間は**2年**である。

4. **自動車検査証の有効期間の起算日は、当該自動車検査証を交付する日又は当該自動車検査証に有効期間を記入する日とする。ただし、自動車検査証の有効期間が満了する日の1カ月前から当該期間が満了する日までの間に継続検査を行い、当該自動車検査証に有効期間を記入する場合は、当該自動車検査証の有効期間が満了する日の翌日とする。**

問11

自動車の検査等についての次の記述のうち、正しいものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 指定自動車整備事業者が交付した**有効な保安基準適合標章を自動車に表示している場合であっても**、当該自動車に自動車検査証を備えなければ、これを運行の用に

供してはならない。

解説 × 有効な保安基準適合標章を表示すれば、自動車検査証の規定は適用しない。

2. 自動車の使用者は、自動車の長さ、幅又は高さを変更したときは、道路運送車両法で定める場合を除き、その事由があった日から30日以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。

解説 × 15日以内

3. 国土交通大臣は、一定の地域に使用の本拠の位置を有する自動車の使用者が、天災その他やむを得ない事由により、継続検査を受けることができないと認めるときは、当該地域に使用の本拠の位置を有する自動車検査証の有効期間を、期間を定めて伸長する旨を公示することができる。

4. 自動車に表示されている検査標章には、当該自動車の自動車検査証の有効期間の起算日が表示されている。

解説 × 有効期間の満了日が表示されている。

問12

道路運送車両の保安基準及びその細目を定める告示についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 停止表示器材は、夜間200メートルの距離から走行用前照灯で照射した場合にその反射光を照射位置から確認できるものであることなど告示で定める基準に適合するものでなければならない。
2. 自動車は、告示で定める方法により測定した場合において、長さ(セミトレーラにあっては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離)12メートル、幅2.5メートル、高さ3.9メートルを超えてはならない。

解説 3.8メートルを超えてはならない。

3. 用語の定義に定める「空車状態」とは、道路運送車両が原動機及び燃料装置に燃料、潤滑油、冷却水等の全量を搭載し及び当該車両の目的とする用途に必要な固定的な設備を設ける等運行に必要な装備をした状態をいう。
4. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が8トン以上又は最大積

載量が5トン以上のものの原動機には、自動車が時速90キロメートルを超えて走行しないよう燃料の供給を調整し、かつ、自動車の速度の制御を円滑に行うことができるものとして、告示で定める基準に適合する速度抑制装置を備えなければならない。

平成28年第2回(平成29年3月)

問9

道路運送車両法の目的についての次の文中、A、B、C、Dに入るべき字句としていずれか正しいものを選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。

この法律は、道路運送車両に関し、[A：**所有権**]についての公証等を行い、並びに[B：**安全性の確保**]及び[C：**公害の防止**]その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図り、併せて自動車の整備事業の健全な発達に資することにより、[D：**公共の福祉を増進する**]ことを目的とする。

- | | | |
|---|---------------|----------------------|
| A | 1. 所有権 | 2. 取得 |
| B | 1. 運行の安定性の確保 | 2. 安全性の確保 |
| C | 1. 騒音の防止 | 2. 公害の防止 |
| D | 1. 道路交通の発達を図る | 2. 公共の福祉を増進する |

問10

自動車の検査等についての次の記述のうち、**正しいものを2つ**選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 指定自動車整備事業者が交付した有効な保安基準適合標章を自動車に表示している場合であっても、当該自動車に自動車検査証を備え付けなければ、これを運行の用に供してはならない。

解説 × 有効な保安基準適合標章を表示していれば運行の用に供してよい。

2. **自動車は、その構造が、長さ、幅及び高さ並びに車両総重量(車両重量、最大積載量及び55キログラムに乗車定員を乗じて得た重量の総和をいう)等道路運送車両法に定める事項について、国土交通省令で定める保安上又は公害防止その他の環境保全上の技術基準に適合するものでなければ、運行の用に供してはならない。**
3. **国土交通大臣は、一定の地域に使用の本拠の位置を有する自動車の使用者が、天災**

その他やむを得ない事由により、継続車検を受けることができないと認めるときは、当該地域に使用の本拠の位置を有する自動車の自動車検査証の有効期間を、期間を定めて伸長する旨を公示できる。

4. 自動車に表示されている検査標章には、当該自動車の自動車検査証の有効期間の起算日が表示されている。

解説 × 有効期間の満了日が表示されている。

問 1 1

道路運送車両法の自動車の登録等についての次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 登録自動車の所有者は、当該自動車の使用者が道路運送車両法の規定により、自動車の使用の停止を命ぜられ、同法の規定により自動車検査証を返納したときは、遅滞なく、当該自動車登録番号標及び封印を取りはずし、自動車登録番号標について国土交通大臣の領置を受けなければならない。
2. 自動車は、自動車登録番号標を国土交通省令で定める位置に、かつ、被覆しないことその他当該自動車登録番号標に記載された自動車登録番号の識別に支障が生じないものとして国土交通省令で定める方法により表示しなければ、運行に用に供してはならない。
3. 登録自動車の使用者は、当該自動車が増失し、解体し(整備又は改造のために解体する場合を除く)又は自動車の用途を廃止したときは、速やかに、当該自動車検査証を国土交通大臣に返納しなければならない。

解説 登録自動車の所有者は15日以内に永久抹消登録の申請をしなければならない。

4. 自動車の所有者は、当該自動車の使用の本拠の位置に変更があったときは、道路運送車両法で定める場合を除き、その事由があった日から15日以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

問 1 2

道路運送車両法の保安基準及びその細目を定める告示についての次の記述のうち、正しいものを2つ選び、解答用紙の該当する欄にマークしなさい。なお、解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

1. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が5トン以上のものの後面には、所定の後部反射器を備えるほか、反射光の色、明るさ等に関し告示で定める基準に適合する大型後部反射器を備えなければならない。

解説 × 大型後部反射器は車両重量7トン以上のもの。

2. 自動車の軸重は、10トン(牽引自動車のうち告示で定めるものにあつては、11.5トン)を超えてはならない。
3. 自動車(二輪自動車等を除く)の空気入ゴムタイヤの接地部は滑り止めを施したものであり、滑り止めの溝は、空気入ゴムタイヤの接地部の全幅にわたり滑り止めのために施されている凹部(サイピング、プラットフォーム及びウエアインジケータの部分を除く)のいずれの部分においても1.6mm以上の深さを有すること。
4. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって、車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上のものの原動機には、自動車が時速100キロメートルを超えて走行しないよう燃料の供給を調整し、かつ、自動車の速度の制御を円滑に行うことができるものとして、告示で定める基準に適合する速度抑制装置を備えなければならない。

解説 × 時速90キロメートル毎時を超えて走行しないように。